

販売管理システム導入で 卸の競争力強化 展示会出展企業を紹介

①サビエンステクノロジー・ジャパン (横浜市西区)

―会社の概要について

1980年設立のイスラエル製ローコード開発ツールの国内総販売代理店で、四半世紀以上にわたり営業を展開しています。お客様自身による開発ツールを使用する社内基幹システム開発の技術サポートを主業として、お客様の業務システムの委託開発、運用・保守業務も手掛けています。新たな事業として、同開発ツールを用いて、

農経新聞社は5月12日、青果流通業界で初となる「青果卸向け販売管理システム合同展示会・パネルディスカッション」を品川ザ・グランドホールで開催する。主要システム業者が一堂に会して展示会を行い、システムに関する共通課題をディスカッションするもの。基幹システムの更新を検討していたり、産地とのコミュニケーションツールを探している卸売会社にとって、またとない機会となる。そこでシステム検討の一助となるよう、今号から毎回、出展業者のシステムの特長などをインタビューし紹介する。

青果卸売市場専用パッケージ「VF emerge」の特長について、簡単にいいます。

―クラウドシステムとなっており、サーバーは不要です。経営者、営業・事務担当者にとって導入メリットを享受してもらえる、ユーザビリティの高い製品です。

主な機能として入荷・

VF emerge

基本業務をクラウドで 将来に備え「変更」強みに

業務でも詳細オペレーションは過去の商慣習、地域性、卸売市場の形態により異なります。当社パッケージの標準機能を活用いただくと共に、お客様独自の様々な業務についてカスタマイズ可能な柔軟な設計となっています。

分荷・仕切・販売・ペシフル送信・請求・支払各種帳票など基本業務を標準装備しています。

―開発の背景は、

当社の開発ツールは複数の大手J A電算センターに導入実績がある事に加え、大手卸売市場にサブシステム開発のための内製化支援ツールとして

のニーズに対応可能であること確認し、製品化を決定しました。

―導入の効果、メリットは、

経営者は、紙ベースによる売上げ・利益などの係数管理から解放され、リアルタイムで利益・売上状況などの係数を照会可能。スピーディな経営

判断につながります。

販売担当者・事務担当者、当日の必須業務をTO DO画面のチェック機能により目視把握および入力業務が可能。残業務件数の可視化、TO DO画面からの入力操作により、販売活動の充実・拡大及び業務効率化の実現が期待できます。

―システムをへ入れ・導入する読者へ。

市場業界への参入間もない当社ですが、設立後40年超の企業として様々なお客様のシステムサポートの実績を有しております。「VF emerge」も既に何社もの市場にご契約いただいております。本稼働後もトラブルなく順調に稼働しています。

販売し、青果卸売市場のシステムに接する機会が非常に増えました。

改正卸売市場法の影響やインボイス対応など、今後青果市場業界はシステム変更ニーズが極めて高くなることから、変更処理に強い開発ツールでパッケージを開発すれば、今後の青果卸売市場

―導入企業への支援体制は、

本社(横浜)・大阪事業所の2拠点に専門技術者が常駐しており、全国のお客様をカバーしている。緊急対応時のQ&A窓口、連絡体制も完備しています。リモート支援はもとより、現地訪問も実施しています。

来年度施行されるインボイス制度は、帳票の変更を含め様々なシステム変更要件が生じてきます。当社のパッケージは変更処理にも強い点でも好評をいただいています。

さまざまな環境変化を青果卸売市場の皆様と共に乗り切っていく覚悟を持

つておりますので、お気軽にお問い合わせください。

―問い合わせ・ホームページ

TEL045-682-4777 (営業担当)

平澤・富岡・高瀬

ホームページ

<https://www.sapiens.co.jp>

VF emergeの特徴

①青果卸売市場のスタンダード業務をクラウドでご提供



- TO DOチェック機能・入力画面
- 入荷 ■分荷 ■販売 ■仕切 ■ペジフル送信
- 各種管理帳票 ■請求支払・管理 等

②ローコードによる変更に強いシステム基盤の実現

改正卸売市場法
インボイス制度など



今後発生するシステム変更に柔軟性とコストダウンを両立